

科目名	編曲II				担当講師	谷津 祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間	3期・4期		総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標						
3期	よく使われるコードパターンについて理解し、意図するコード編曲ができる力を修得する。						
4期	楽曲のジャンルやスタイルについて理解し、総合的な編曲ができる力を修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	授業ガイダンス／コードの機能と進行					
2	10月25日	コードトーンとアポイド					
3	11月1日	基本コードパターン 楽曲分析とアレンジ1					
4	11月8日	基本コードパターン 楽曲分析とアレンジ1-2					
5	11月15日	基本コードパターン 楽曲分析とアレンジ2					
6	11月22日	基本コードパターン 楽曲分析とアレンジ2-2					
7	11月29日	転調					
8	12月6日	楽曲のジャンル・スタイル1					
9	1月17日	楽曲のジャンル・スタイル2					
10	1月24日	楽曲のジャンル・スタイル3					
11	1月31日	総合的な要素を含むアレンジ1					
12	2月7日	総合的な要素を含むアレンジ2					
13	2月14日	総合的な要素を含むアレンジ3					
評価方法	C評価 実技習得度で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト	各自五線紙用意のこと／随時授業にてプリント配布						
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)						

科目名	DTM II				担当講師	水口 陽子	
講師実務経験	ピアノ講師						
対象学年	1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間	3期・4期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
3期	前期で学んだ基本操作やMIDIデータでの表現法を活かし、楽曲制作に活かせるよう、より高度な編集を習得する。						
4期							
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	総合的な練習課題① (K1-Liveまではそれに伴う制作も可)					
2	10月25日	総合的な練習課題②					
3	11月1日	総合的な練習課題③					
4	11月8日	総合的な練習課題④					
5	11月15日	総合的な練習課題⑤					
6	11月22日	総合的な練習課題⑥					
7	11月29日	総合的な練習課題⑦					
8	12月6日	総合的な練習課題⑧					
9	1月17日	総合的な練習課題⑨					
10	1月24日	後期課題制作①					
11	1月31日	後期課題制作②					
12	2月7日	後期課題制作③					
13	2月14日	後期課題制作④					
評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:C						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	39時間中114時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)						

科目名	作曲Ⅱ		担当講師	谷津 祐子		
講師実務経験	大学非常勤講師					
対象学年	1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	3期・4期	総授業回数	12	回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標					
3期	自分で楽曲の構成を組み立て、メロディーを作曲できる力を修得する。					
4期	さまざまなスケールについて理解し、自分の意図するメロディーが作曲できる総合的な力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	10月19日	楽曲の構成についての分析1				
2	10月26日	分析をもとにした作曲				
3	11月2日	楽曲の構成についての分析2				
4	11月9日	分析をもとにした作曲				
5	11月16日	楽曲の構成についての分析3				
6	11月30日	分析をもとにした作曲				
7	12月7日	さまざまなスケール1				
8	1月18日	さまざまなスケール2				
9	1月25日	総合的な課題作曲1				
10	2月1日	総合的な課題作曲1-2				
11	2月8日	総合的な課題作曲2				
12	2月15日	総合的な課題作曲2-2				
評価方法	C評価 実技習得度で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)					
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト	各回授業にてプリント配布					
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名	アンサンブル I			担当講師	曾山良一/川畑統正/中田有紀/ 岸林大輔/木村圭子
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	3期・4期	総授業回数	37 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
3期	ライブイベントに向けた楽曲制作と、譜面、セッティング図等の資料完成出来る力を修得する。				
4期	より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月14日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン1			
2	10月15日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン2			
3	10月19日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン3			
4	10月21日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン4			
5	10月22日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン5			
6	10月26日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン6			
7	10月28日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン7			
8	10月29日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン8			
9	11月2日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン9			
10	11月4日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン10			
11	11月5日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン11			
12	11月9日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン12			
13	11月11日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン13			
14	11月12日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン14			
15	11月16日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン15			
16	11月18日	K-1ライブに向けた最終チェック①			
17	11月19日	K-1ライブに向けた最終チェック②			
18	11月25日	K-1ライブに向けた最終チェック③			
19	11月26日	K-1ライブに向けた最終チェック④			
20	11月30日	K-1ライブに向けた最終チェック⑤			
21	12月2日	K-1ライブに向けた最終チェック⑥			
22	12月3日	K-1ライブに向けた最終チェック⑦			
23	12月7日	オリジナル曲作成①と伴奏編成			
24	1月18日	オリジナル曲作成②と伴奏編成			
25	1月20日	オリジナル曲作成③と伴奏編成			
26	1月21日	オリジナル曲作成④と伴奏編成			
27	1月25日	オリジナル曲作成⑤と伴奏編成			
28	1月27日	オリジナル曲作成⑥と伴奏編成			
29	1月28日	オリジナル曲作成⑦と伴奏編成			
30	2月1日	オリジナル曲作成⑧と伴奏編成			
31	2月3日	オリジナル曲作成⑨と伴奏編成			
32	2月4日	オリジナル曲作成⑩と伴奏編成			
33	2月8日	オリジナル曲作成⑪と伴奏編成			
34	2月10日	新入生歓迎ライブに向けた、バンドアンサンブルレッスン1			
35	2月15日	新入生歓迎ライブに向けた、バンドアンサンブルレッスン2			
36	2月17日	新入生歓迎ライブに向けた、バンドアンサンブルレッスン3			
37	2月18日	新入生歓迎ライブに向けた、バンドアンサンブルレッスン4			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	111時間中38時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	作詞Ⅱ		担当講師	吉田 佳代	
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	講義
期 間	3期・4期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
3 期	構成のバランスに考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現を修得。				
4期	構成のバランスに考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現を推敲を修得。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	ジャンルによる歌詞の特徴について(ロック)			
2	10月20日	対句			
3	10月27日	呼びかけ法			
4	11月10日	個性的表現について			
5	11月17日	アブストラクト			
6	11月24日	時代を映す詞			
7	12月1日	造語			
8	1月19日	象徴			
9	1月26日	語呂合わせ			
10	2月2日	当用漢字 常用漢字			
11	2月9日	出だしの重要性			
12	2月16日	作品のテーマを決める			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36 時間中 13 時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	音楽基礎Ⅱ			担当講師	水口 陽子		
講師実務経験	ピアノ講師						
対象学年	1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	講義
期 間	3期・4期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
3期	前期で学んだ基礎に加え、より広く様々なコードの仕組み、コード進行を習得する。						
4期							
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月14日	反復記号と演奏順序					
2	10月21日	ダイアトニックスケールとダイアトニックコード①					
3	10月28日	ダイアトニックスケールとダイアトニックコード②					
4	11月4日	譜表からのコード付け					
5	11月11日	メジャーにおける代理和音					
6	11月18日	メジャーにおける基本の終止とその他の終止					
7	11月25日	コード進行分析					
8	12月2日	マイナーにおける代理和音					
9	1月20日	マイナーにおける実用的な和音					
10	1月27日	マイナーにおける基本の終止とその他の終止					
11	2月3日	セカンダリードミナント①					
12	2月10日	セカンダリードミナント②					
13	2月17日	総復習、試験対策					
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)						

科目名	Gt実習Ⅱ		担当講師	川畑 統正	
講師実務経験	ギタリスト / ヤマハ認定講師				
対象学年	1 学年	対象専攻	ギター専攻		授業形態
期 間	3期・4期	総授業回数	24 回	1回あたりの授業時間	
期	135 分				
3期	修 得 目 標				
4期	1、2期の内容をさらに深め技術・知識を高め修得する。				
	音楽的応用とオリジナル性を深め修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズのレクチャー			
2	10月15日	フォームチェック、ピッキングやフィンガリング			
3	10月20日	カッティングエクササイズ、ミュート、ストローク、リズムなど			
4	10月22日	スケールエクササイズ、メジャースケール、インポジション			
5	10月27日	コードについて、オープンコード～バレーコードの仕組みと基本			
6	10月29日	コードについて、リズムコードのレクチャー			
7	11月5日	ブルースフォームによるリズムやコード			
8	11月10日	ブルースフォームによるテーマ、メロディ			
9	11月12日	メジャースケールエクササイズ、ブローケンポジション			
10	11月17日	マイナースケールについて種類と特徴			
11	11月19日	マイナースケールについて応用			
12	11月24日	ブルースの発展 ジャズ ブルース			
13	11月26日	ファンクリズムの導入と応用			
14	12月1日	インプロビゼーションの基本について			
15	12月3日	ダイアトニックコードについて			
16	1月19日	アベイラブルノートスケール、モードについて			
17	1月21日	コンピングについて			
18	1月26日	ミクソリディアンスケールについて			
19	1月28日	ドリアンスケールについて			
20	2月2日	オルタードスケールについて			
21	2月4日	スタイル研究 ブルース、ロックなど			
22	2月9日	スタイル研究 ジャズなど			
23	2月16日	スタイル研究 Funkなど			
24	2月18日	スタイル研究 ボサノバ、ラテンなど			
評価方法	B評価 定期試験(筆記試験)の素点と実技修得度で評価				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	72時間中25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				